

# 自動運転実証運行の取組状況について

令和6年度第1回生活交通会議

都市整備部

資料 5

交通政策課

## 1 事業の目的

中心市街地において自動運動バスの実証運行を行い、自動運転の課題を抽出し、社会実装に向けた検証を行うとともに、市民や関係者に自動運転技術を体感していただき、自動運転への理解を深めます。

## 2 事業の内容(自動運転バス実証運行の結果)

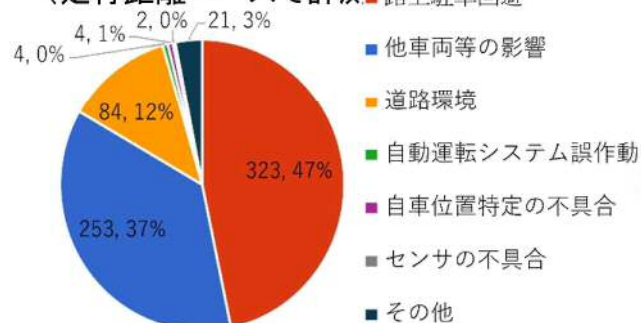
- 実証期間 令和6年1月～2月 ※試乗期間:2月13日～18日、21～25日(11日間)
- 運行便数 80便
- 試乗人数 701人(関係者:105人 公募:596人) ※公募枠の乗車率:92.8%

## 3 主な実証結果

### (1)技術面の検証

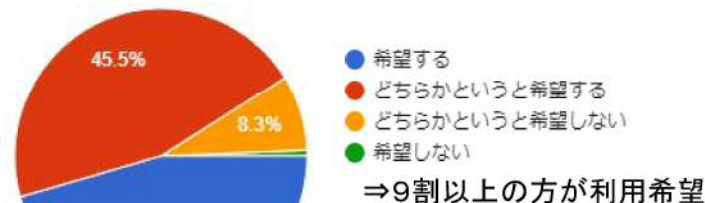
自動運転率:80.2%

(走行距離ベースで計測)



### (2)社会受容性面

問:将来的な自動運転サービスの利用希望について



⇒9割以上の方が利用希望

#### 【希望しない方の理由】



## 4 今後の取組み方針

- ・令和5年度の検証ルートの基本として、薄暗くなる夕方の走行、信号機との連携による自動運転率の向上や遠隔監視システムの機能拡張など検証項目を追加した上で社会実装を見据えた実証運行を継続します。
- ・市街地に加えて、中山間地においても、利用者減やドライバー不足等によるバス路線の維持を図るため、実証運行の実施に向けて検討を行います。  
(いずれも実証運行に要する経費は、国庫補助金による確保を見込みます。)

## ◆運行計画

- ・対象路線:現在運行中の100円循環バス 緑コースの路線の一部
  - ・走行距離:ルート4.6km
  - ・所要時間:約25分
  - ・自動運転レベル:レベル2  
(使用車両はレベル4相当)
- ※原則自動運転にて走行し、必要に応じて手動操作による運行を実施。

- インフラ連携(路車協調システム)を併せて実証  
外部カメラによって車体の死角となる箇所の映像を車載モニタへ表示し、運行を支援

